

第5回 北部地区街づくり協議会 議事録

|  |                               |
|--|-------------------------------|
| 開催日時   | 平成29年7月20日(木) 18:30~20:30     |
| 開催場所   | 樺本公民館 大会議室                    |
| 出席委員   | 委員 12名                        |
| 欠席委員   | 雪元委員、桐山委員、植田委員、寺川委員           |
| 事務局  | 総合政策課4名、産業振興課3名、生涯学習課1名、農林課1名 |
| 議事内容   |                               |
| <p>1. 開 会</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>会長</p> <p>委員の皆様にはお忙しい中ご参集いただきありがとうございます。先般は灯火会と祇園祭お疲れ様でした。北部活性化プロジェクトの発表会もお疲れ様でした。近畿大学の皆様にもお礼申し上げます。その他、図書館開放やマチカ塾であったり、各校区、各地域で活性化の様々な取り組みが行なわれていますけれども、樺本は地域主導でやっていただいているのでモデルにしてやって行かないといけないなと思うくらい牽引していただいています。本日は、今後の方向性について協議していくとともに、協議会と活性化プロジェクトの位置付けも含めてお話できればと考えていますのでどうぞよろしくお願ひします。</p> <p>3. 新委員紹介</p> <p>樺本小学校PTA会長 桐山 陽介 様</p> <p>奈良県農業協同組合樺本支店長 植田 健彦 様</p> <p>4. 議事録の承認</p> <p>第4回協議会の議事録につき、異議なく承認された。</p> <p>5. 議 事</p> <p>以下、議事進行は会長が進める。</p> <p>(1) 地元連携</p> <p>委 員</p> <p>図書室開放ですが、学校と地域を結ぶコーディネーターをさせていただいており、学校の先生とコーディネーター「学校地域共同本部協議会」という会議があり、その中で図書室開放と後で、報告しますマチカ塾の二つの事業をしています。図書室開放というのは、昨年2月頃に、樺本小学校の図書室は4階にありますが、暗くて子ども達も寄り付かないような場所だったのですが、図書室をキレイにしたいと校長先生からの依頼があり、長寿会会長のフカガワさまに5名のボランティアを探して頂き、その方々に図書室をキレイにさせていただき、キレイになってきたので、昨年7月くらいにプレで第一回の樺本幼稚園の園児に向けて図書館を開放しました。やっている内容は、子ども達に読み聞かせをする。それを月1回図書室開放を行ってきました。その</p> |                               |

結果、小学校の生徒も図書室に集まるようになってきました。お昼の時間は子ども達が集まって利用しています。今後は、幼稚園児だけでなく、大人にもご利用いただける図書室になっていけばと思っています。小学校でも図書室開放プロジェクトチームということで5名程の先生と策を練っています。

#### 会 長

子どもが自主的に図書室に来ることに驚きましたし、俳句も長寿会の皆様と一緒につくられて多世代交流もしっかりやっていただいていると思っています。何か今後に向けた意見等いただければと思います。

#### 委 員

本を読むことはいいことですし、今現在こういう風にボランティアでやっていただいていることはありがたいことだと感じています。

#### 委 員

子ども達の学力というのは本をよく読まないといけないということで、図書室の活用がどんどん増えるようになっていけば、櫛本の子どもの学力ももっと上がっていくのではないかと思います。

#### 会 長

櫛本小学校の学力は前回よりあがっていました。学校の取組みが効果をあげていると感じています。ぜひ校区の方でもバックアップをお願いします。町カ塾についても話していきたいと思います。

#### 委 員

町カ塾は公民館の3階にある自習室で行っており、間仕切りがあることで子ども達が真剣に勉強ができています。今は5年生、6年生を対象に行っていますが、どちらも半数以上の子が出席しています。何をやっているかという、大学生にボランティア講師をお願いし、学校の先生が作成された漢字や算数のプリントを行う形の塾です。進学塾ではないので、小学校6年間で習うことを復習する塾。基礎をマスターできる塾という方向性でやっています。プリントをすることによって勉強しようと思っても何を勉強したらいいのかわからない子も、勉強はこうするんだということが分かる。中学校は小学校の基礎が出来てる前提で授業が進んでいくので、基礎が出来てない子がどんどん落ちていってしまうのを防ぎたい、底上げするような塾です。町カ塾に通い、地域貢献することで、ポイントが貯まる。一定のポイントが貯まれば夢の実現の協力をする予定をしています。

#### 会 長

子ども達が自尊心を持って自分から行って学習習慣をつけてくれるというのが一番の課題としているところなので非常にありがたいことだと思います。

#### 委 員

これからはポイントについて相談し、いかにして子どもの夢を叶えていくかをまだまだ考えて

いかないといけないと思っていますので皆様ご協力お願いします。

## 委員

マチカポイント制度を本格的に稼働させていくにはポイントの貯め方と使い方が非常に重要になってくる。そのプランを練っていくとなった時に、協議会でプランを練るとするのは期間的にも難しい。北部活性化プロジェクトという組織がありますので、そちらで、一度意見を揉んでプランが出来上がって、ここで委員の皆さんに仰いでいきたいと思っています。北部活性化プロジェクトも一つの山場を越えてきて、北部活性化プロジェクトが意見が出にくいスタンスだったものをもう少しフランクな率直な意見が出てくる会議にして、みんなの意見を集約して協議会へ持ってくる形に変化してきています。

## 委員

北部活性化プロジェクトも 30 人くらい集まってやっていますが、最初の頃はワークショップ的な感じでやっていた、その時は色々な意見が出てそれを集約するだけが責務でしたが、それを段々実行していったとなると予算の問題だとかがある。プロジェクトのらしさというか簡単な意見が言いにくいところがあるので、新たなスタートを切ろうかと思っています。

## 会長

次回までにプロジェクトの皆さんで議論していただいたことを共有させていただければと思います。また、町カ塾の夢の実現にむけての検討をよろしく願いいたします。

## (2) モノづくり

### 事務局

和爾町でマコモタケを作られています、これをもう少し PR していきたい。大変美味しく、身体にもいいので皆様にも知っていただきたい。櫛旅のときもマコモタケの圃場を見ていただくなどの企画もあるとのこと、実際にマコモタケがどこで作られているのかが分かりにくいのでのぼりなどを作っていきたいと思っています。年間を通じて使っていただけるようなのぼりのデザインを検討していきたいと思います。また、皆様方からご意見などいただければ活かしていければと思います。学校給食でもマコモタケの料理などをしていただければと言う話もありまして、学校教育課と調整検討しているところです。市内の飲食店などにも発信し販売先の確保など販路拡大していければと考えています。

地元産品の発信についてですが、天理の直売部会の皆様が A コープさんでほのぼの市という直売をされていますが、先日リニューアルされまして、今までは一段だった棚が二段になり、非常にたくさんの野菜が並んでおり、売上も上がっていると聞いています。また、資料にもありますが「てんりなマーボ」ということで、地元産品の PR の一環として 7 月 1 から 31 日まで市内の餃子の王将さんで天理市のナス、トマトを使用したマーボナスの販売がされています。天理インター店でも販売されています。続いて、県内のモスバーガーさんでも 6 月に産直フェアということで天理市産のトマトを使ったハンバーガーを期間限定で販売していただきました。こちらは 4

年程前からしていただいておりますが、当時は奈良県産という名目でした。以前から天理市産が使われていたのでぜひ天理市の名前を前に出してほしいということで、昨年から天理市産という名目でフェアをしていただいております。大変好評で、天理市の生産農家を教えて欲しいという問い合わせもいただいております。

## 会 長

ほのぼの市ですが、A コープさんに伺っていると売り場面積を広げて好評をいただいているとのことです。地産地消に対するニーズは非常に高いことが改めて確かめられました。餃子の王将さんとモスバーガーさんの例も出しましたが、天理産であることが十分ブランドとして付加価値になっているということが企業さん自身が確認いただいていることだと思っています。今現在はナスとトマトということですが、天理と付けることでそこに付加価値があるということは他の産品にも繋げていけると思っています。モスバーガーさんは同じ様な形のフェアを全国展開でされていますが、奈良県でおこなった天理産トマトは全国の他のキャンペーンに比べても評価が高いと聞いています。天理ということを前面に打ち出した展開を今後もやっていきたいと思っています。その中でマコモタケについて先日の北部活性化プロジェクトの発表会の説明をお願いします。

## 委 員

まこも茶パッケージですが、ブランド力をあげるために近畿大学へデザインをお願いしました。最終的にマコモタケをイメージした包み紙をパッケージにして、中にはマコモタケの産地の地図を入れる。また、お茶の出し方についても近畿大学の薬学部の多賀先生にご指導を仰ぎまして、水出しは2時間、炊き出しは2分間が美味しい。そういうお茶の出し方をするによりマコモタケ独特の匂いが少なくなります。口の中がスッキリする感じがおり、先日も非常に好評でした。

## 委 員

6月に植付して順調に生育しています。先程農林課からも説明ありましたマコモタケ学校給食の件について、昨年から話が出ていて、今年はぜひ実現していただきたいと思います。

## 会 長

承りました。その地域だから味わえるものだから産地を訪れることができるということは地元への愛着や周遊観光においても必須ですので、マコモタケ、まこも茶についてはそういう形のプロモーションも一緒にしていきたいと考えています。産地のところへのぼりも建ててそれを櫛旅でも活用するということがよろしいでしょうか。他にモノづくりについてご意見、ご質問あればお願いします。

## 委 員

給食に関しては地元の子供達から保護者にどんどん広がっていくことを望んでいるので市の方でがんばっていただきたいと思っています。マコモタケを作っているところへのぼりを建てられるとのことです。櫛旅の時だけでなく、普段のPRとして発信していくために169号線沿いに

ものぼりを建てて車で来ても目立つようにしていただきたい。

#### 会 長

場所の確保が必要になりますが、公民館にはすぐに着手できるかなと思います。人の目に付きやすいところで発信できるかはまた相談していきたいと思います。知る人ぞ知るだけではだめとのことですね。

#### 委 員

SNSでも発信されてますが、見る年代も限られてますので、目に触れる形であればどんどん広がっていくのではないかと思います。

#### 会 長

地元でのモノづくりについて、まこも茶に限らずご意見いただければと思います。

#### 委 員

「かどや」がありますが、今現在は殆んど利用されていないので、それをなんとかして稼働率を上げたいと思っています。トイレがないというのは弱みですが、1日千円で貸出しています。借り手がない時は無料の休憩所になっています。タダでお借りしていますので、水道料金などのランニングコスト以外はそんなにかかっているのですが、最低限月に3万円の経費を見ていきたいと思っています。みなさんのアイデアで使えるように考えていただければありがたいです。よろしく願いいたします。

#### 会 長

かどやの話がでましたが、櫟旅、櫟旅マップと併せて議論できればと思います。

#### 委 員

場所的なこともあり、スペースが小さい。また、単発的な食品販売はいいが、定期的な販売はダメということで保健所に言われています。食品衛生管理責任者をおいて、営業許可もいるので今後これらの課題をクリアしていかないとはいけません。

#### 会 長

活用の幅を広げてとの話がありましたけれど、地域の人の交流の拠点の要素なども含めてとのことでしょうか。

#### 委 員

かどやのリニューアルについては近畿大学さんと共に居場所づくりとしてサロンのように話合えたらとのことでしたが、エアコンも付いていないので夏場は厳しいですが、冬場は子どもがゲームをして子ども達の居場所にはなっていた。北部活性化プロジェクトで近畿大学さんと相談しながら改善していきたいと思います。

#### 会 長

施設的な部分も含めながら近畿大学さんと広げて行こうということですね。

続きまして周遊観光に入っていければと思います。櫟旅とマップの配置等について議論していきたいと思います。

## 委員

櫟旅マップは3年間かかり北部活性化プロジェクトで、どのような形で櫟本を周遊していただけたらいいか、北部の山の辺の道も県と連携することやもっと櫟本の街に近いところを歩いていただきたいという思いもあり、伝・山の辺の道を設定させていただきました、このコースも出来て今年度は10月15日に櫟旅を開催します。マコモタケの最盛期の時に櫟旅を行い、公民館で手作りフェスタ等も開催していきたいと思います。櫟旅マップができましたので、この地図を持って地域の方により多く歩いていただきたいと考えています。

道標につきましても、道標の下にメッセージボードを設置することによって次の拠点に何があるのかなど地域の魅力を発信していきたいと考えています。今年度は近畿大学さんとボードの活用について検討していきたいと思います。

## 近畿大学

道標とまこも茶のパッケージを作成し、市内外の人々に櫟本の魅力を知っていただきたいと努力しています。道標のメッセージボードについては誰かが勝手に作ったものではなく、地域の子ども達に絵などを描いてもらい、自分たちで作ったボードということで今後も継続してイベントごとに使っていただければと思います。

## 会長

櫟旅と道標について、これまでの案件と重なってくるかと思いますが、マチカとも関わってくるとのことです。よろしかったでしょうか。

## 委員

櫟旅の中で、マチカポイントと連携し、子ども案内ガイドというのを校長先生に打診しています。子ども達が10月15日に例えば、和爾下神社や東大寺山古墳の説明をするなどの形で協力いただける子どもさんについてはマチカポイントを付与することも考えています。

## 委員

伝・山の辺の道、上ツ道のマップを作っていただきましたので、これを今度はJR 櫟本駅と蔵之庄町の高井病院の西側に市の方で設置をお願いしたいと思います。どうでしょうか。

## 会長

前向きに検討したいと思います。現在の看板も大きいので、どのサイズでどう設置すればいいか。来られた方が見られなかったら意味がないと思っています。櫟旅マップの設置場所も検討していきたいと思います。

## 事務局

この状況を、市のHPにも上げたいと思っていますし、県の歩くならのルートとしても県にお願いしたいと思います。

## 委員

奈良盆地をぐるっと一周回って帰ってくるということで、天理市さんは山の辺の道を歩くとのことで整備をしています。一周回ると100kmあるので一回では回れないので、休み休み行っ

ていただきながら、少しでも奈良に居てほしいと思っています。このような新たなルートやマップを作っていたらいいのはすごくありがたいです。駅というものを意識しながら作っていたらいいのでこれらも取り入れさせていただければと思います。

#### 会 長

100kmを一日で走破は難しいですので、公共交通機関で入ると奈良から橿本、帯解から回りやすいルートになっているかなと思いますので、県との連携もよろしくをお願いします。

このマップを色んなところで配布していくに当たりまして、裏面についても活用を考えておられますか。

#### 委 員

明日プロジェクトの会議ですので、橿本駅など JR の駅には大きなポスターを貼りたいと思っています。そういうことも含めてマップの活用の仕方を検討していきたいと思っています。

#### 会 長

橿旅、橿本の周遊について他にご意見ご質問ありますでしょうか。

#### 委 員

在原神社についてですが、雑草がかなり目立っていて受け入れる側としてもある程度キレイにしないと魅力も半減すると思います。ボランティアを募っての除草などを考えておられますか。

#### 委 員

市場の長寿会で掃除をされていると聞いています。

#### 委 員

この間見たら残念な感じになっていたの、長寿会だけでなくみんなの力を合わせて橿旅までに一度ボランティアを募るなりした方がいいのではないのでしょうか。

#### 会 長

橿旅の実施に向けて北部プロジェクトで検討をよろしくをお願いします。

行政としても在原神社は本来はバスの停留所からも近くて大きな動線上に隣接した文化的資産であると認識していますが、どのような形で在原神社を活用していくかをまた議論していけたらと存じます。

市全体のめぐみめぐるてんりの全体像についてご紹介したいと思います。

昨年度行いましたモノづくりの成果物をもって販路拡大の取組みをしています。大阪にある商業施設でプロデューサーである服部さんの主催イベントで、各地から地産地消、ライフスタイルに関するショップが出店していますが、そこに天理もブースを出させていただきました。森田委員も出店していただきましたので一言お願いします。

#### 委 員

若者が集う商業施設の入口で graf さんが関わってこられた業者さんが出店されました。森田アロエ本舗、南檜垣営農組合、ジャムキッチンタータンさんの商品をメインに販売しました。生鮮についてはすぐに売り切れになっていました。FM802の放送もして、自分たちのこだわりな

ども発表しました。森田アロエ本舗としてはアロエの化粧水を作るワークショップもさせていただきました。

## 会 長

モノを持って行って並べておくだけでは発信力はないかなと思いますので、森田さんのように作り手の顔もしっかり示していきながら、商品を売るだけでなく背景にあるストーリーやワークショップと組み合わせて魅力を感じていただく機会を作っていきたいと思っています。天理という言葉が観光や物販の時には一步引かれた流れが昔は強かったのかなと思います。今は全面的に出して展開していますが、大阪でもこのように十分に成立することが確認できましたので、しっかりやっていきたいと思っています。東京の奈良のアンテナショップまほろば館でも同じような形でキャンペーンをして、モノづくりの商品は全て完売しました。まもなく受付終了ですが今年も、モノづくりについて3品募集しています。

## 委 員

もともとアロエのハンドクリームが大きな容器に入っていて、結構人気があり、お客さんに携帯用のものが欲しいと長年言われていたのですが、なかなか腰が上がりませんでした。良い機会をいただき graf のデザインで新しく商品化できました。

## 会 長

デザインで言いますと、よく市内や県内で話をしていると中身が良いかどうか大事だから上っ面のものに捉われるのはやめなさいと言われることがあるのですが、中身が良いというのは一番大事なことです。実際に買って使ってもらわないと中身が良いのかがわからない。中身の良さを言葉で伝えるのと同じようにきちんと表現をして買っていただく機会や販路を作っていくとやっぱり良いモノだというのが広がっていく。若い世代の人々で天理に良いモノがないと誤解されている皆さんにそうではないということを伝えていきたいと思っています。

## 委 員

今までの商売方法は極力経費を抑えて良いモノを安くというのを念頭に置いてしてきましたが、今回 graf さんに関わって勉強させていただいたのは、ブランドづくりの大切さです。ブランドを作って、それがロコミで広がって高いモノでも売れていく。モノを売る上で、ブランド意識というのも大事ななと感じました。

## 《天理駅前 PR 映像》

## 会 長

これは天理駅前広場の PR 映像ですが、これと共に全国誌で 10 誌以上特集を組んでいただいています。中には表紙で使っていただいたところもあります。見開き何ページというレベルで掲載いただいています。今日の資料でも、graf の服部さんと nendo の佐藤さんとの対談の内容ですが、駅前のことだけでなく、ここには森田アロエさんのモノづくりの話とマチカの話も載っています。



す。他にも web マガジンで山の辺の道の無人販売所を取り上げていただいたりとかそういった繋がりが出てきています。全然関係ないということではなく、櫟本の良さを駅前でも共有していくということでも使っていただけたらと考えています。

山の辺の道が出ましたが、南部地区の状況がどうなっているかと言いますと、トレイルセンターは元々中に何もなくて、お弁当を食べるだけの休憩所でしたが、この4月からリニューアルしています。今まで通りお弁当を食べることも出来ますが、指定管理で地元産品も使ったレストランも入りました。4月5月の集計では昨年度の倍以上の来館者になっています。こちらでも櫟本公民館と同様に地域の産品も販売しています。山の辺の道北ルートを発信していくには山の辺の道全体を盛り上げていく必要があると考えています。トレイルセンターだけが盛り上がっている訳ではなく、その目の前に紅茶屋さんが出来ましたし、二軒隣には前からあったそば屋さんもあり全体の売上が上がっている状況です。一軒だけでなく集合した方が拠点性が増すので相乗効果が出ています。

高原地区の方も、コフンマルシェがある度に山田公民館で作られたお弁当やいなりを売っていただいています。この度、山田町では空き家をリフォームした直売所を作られました。土日は有人で平日は無人でやっておられます。野菜も充実していますし、地域の方々が買い物に来るだけというより、コミュニティーの場にもなっています。

長滝では、地名の由来になった滝を復興しようということで、地域の人々が滝に通じるルートを切り開かれ、アマゴを放って塩焼きにしたりワークショップをしたりする大和川源流体験ツアーもされました。

福住で暮らすというのはこういう感じですよという冊子も作り、東京の移住交流ガーデンを含めて発信しています。住む方をつくっていかないといけないというのがあるので、暮らしに関する情報と住んだらどういう感じになるのかを積極的に打ち出していきたいと考えています。奈良市から実際に引っ越して来られる方も出てきました。福住小学校については校区の枠を外して、今年は8名が福住校区以外から通っている状況です。来年度に向けても問い合わせが来ています。8名といいましても2割増ですので結構大きいです。

山田の虫送りの行事についても大和盆地で残っているのも少ない状況になっています。京都の市議会議員さんが地元で復興したいと視察に来られることもありました。地域の中でしっかり守り貫いている行事は、他の都道府県の方が見ても参考にされるのだと感じています。

北部活性化プロジェクトの皆さんと連携しながら市の他の地域のプロジェクトと櫟本を有機的に結び付けていきたいと考えていますのでご紹介させていただきました。

## 事務局

9日に北部活性化プロジェクトの発表会をしていただいた時のポスターを南団体待合所に掲示して、櫟旅マップも置いていたのですがすぐになくなってしまいました。灯火会のポスターも掲示し当日まで広報させていただきました。

## 会 長

今後の北部活性化プロジェクトの位置付けについてですが、樺本は北部活性化プロジェクトの皆さんが地域主導で色々なプロジェクトを進めていただいていることが他地区と比べても非常に強みであり特徴的だと思っています。こちらで地域自らが色々提案をいただいて議論いただく部分がエンジンで、街づくりの協議会がギアでかみ合っていて一緒に進んでいく車輪の一方とうイメージだと考えています。今後も北部活性化プロジェクトで出して頂いたアイデアを実現するところを街づくり協議会全体がチームになって一緒に進んでいく形かなと考えています。皆さまから位置付け等について改めてご意見などありましたらお願いします。

## 委 員

昨年までは、県の補助金などがありました。今後は街づくり協議会の下部といたしますか、北部活性化プロジェクトで色々提案はさせていただきますが、実現するには北部街づくり協議会の協力や近畿大学の寺川先生や多賀先生との今後の繋がりも検討していただければと思います。

## 会 長

事務局より街づくり提案事業助成金について説明をお願いします。

## 事務局

前回の協議会の中でも説明させていただいていましたが、上限はありますが、協議会の中で発案して頂いた事業を出来るだけ早く実現していきたいという中で設けた助成金です。新規の事業かこれまでの事業を拡大するときの後押しをしていくことで、次年度から上手く回していくためのものです。今回はマチカと樺旅の分が出てきていますので現在、中身を精査中です。

## 会 長

お金の部分だけでなく一緒に汗をかいていくことも大事なことだと思っていますが、機動的に動かせる資金として用意している部分がありますので、相談していければと思います。

本日の議題は以上になりますが、他に何かご意見などありますかでしょうか。

## 委 員

6次産業がどこまで進んでいるのか簡単に説明していただきたいのと、街づくり協議会や北部活性化プロジェクトなどを中心に活発に街の魅力づくりが出来てきていると思っています。樺本に住んでもらいたい街にしていきたくないと常々思っているのですが、モノづくりが出てきていますが産業を考える中で6次産業が来てる中で、今後はグループで頑張るか、個で頑張るかということで産業が活性化すれば街づくりに繋がっていくのではなかと考えています。6次産業を参考にして樺本の個ががんばるようなモノづくりとか他にも出来ることはないのかなと考えてるところですので、どういう進捗状況なのか教えていただきたいです。

## 会 長

進捗ですが、当該エリアの土地改良区、農家組合の皆さんにまずお話しをして、実際の地権者の皆さんに今後農業を続けていく意向がありますかという営農の継続と、将来6次産業と言う形でプロジェクトが進んでいった場合に条件が合えば協力する意思はありますかという趣旨のアン

ケートを取らせていただきました。約90%くらいの皆さんには条件が合えば協力するという意向を示して頂いています。どういう事業が見えない、条件が整理されていない、自分自身は今の場所を動かたくないなどのご意見があった中で、地権者の皆さんを纏めていけるのはこのぐらいの範囲になるかなというところを検討しているところです。その後、実際に事業化してくような基本構想を書く事業者さんはいますかという提案者募集をやっつけようかなと思っています。今わかったのは、このままいくと農業をやめる、後継者がいないと答えられた方が非常に多かったのと、活用について考えていくべきだという意見も多かったところまで認識できました。5年超の-span話になってくるかと思いますが、腰を据えて絵を描いていければと思います。

## 委員

森田さんにしても、マコモタケにしても、地元のモノが出来つつありますが、イベントとかは煮詰まってきたところがあるので、大きいプロジェクトが来るので個ががんばれるような6次産業を作って行ければ街の発展になるのではないかなと思っています。報告と別に協議会の中で会話していければという案です。

## 会長

基本構想を作っていける段階になりましたら、何をやればいいのか、地元とかけ離れたことをやるというのは地権者の理解を得ていく上でもマイナスかなと思いますので、今それぞれのご意向を確かめている途中でしたので今日の報告事項に含めてませんでした。他の地域でやっておられる6次産業の例を見ると、続けていきたいという方を集約するのはいいが、これを機会に辞めるという方の土地も相当空いてくるので、そこを何に使うか。地元で今まで作っていたものに付加価値を加えるような水耕で作れるようなものなどを企業と出荷先まで睨んだ上で作っつけようなどの議論がなされていると聞いているところです。その辺の力量がある事業者がやる気をもって来てくれるのかということを平等な競争の下で公募をしないといけないと思っています。まだ、そこに至るまでに予算など議会とも相談していかないといけないと考えています。今回の地権者のアンケートを見ますと、このまま10年放置しておけば農業をやりたい方も継続できない状況になってしまうと言うのがそのエリアの中では見えてきているので、慎重かつ立ち止まることなく進めて行きたいと思います。

## 委員

大きな6次産業は計画通り進めていただければと思いますが、各地域に何か個ががんばる6次産業だとか、グループでがんばれる6次産業とかを次回何か出して貰えたら樺本で何か頑張ろうという人の参考になると思います。大きなプロジェクトがあるのでその繋がりの中で、空き家もたくさん出てくるので、そういう6次産業をやってみようかなと思われる方が増えていけば産業の発展になるかなと思います。

## 会長

和爾宮農組合で取り組んでいただいているマコモタケのような形のを他の町でも広げているかということですね。

## 委員

櫟本に住んでいる方がこういう形のことを考えて何か商売にもって行こうかなというものがあればというところですが。そのようにがんばっておられるところがあれば参考にしたいと思えます。

## 会長

地域でこういういい例がどこかの市町村であるかどうかということですね。

## 委員

そういうことです。

## 会長

ブランディングプロデューサーなどにも聞いたりしながら他でいい例がないか収集したいと思います。南檜垣当農組合もされてますし、櫟本では吉本さんのバラなど頑張っていたいている例がありますので、エリアとして広がっていくようにということですね。

そうしましたら時間になりましたので、第5回の北部街づくり協議会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。

## 5. 閉会